

【日本語版書籍紹介】

<メディアワークス>

スポーン 1 ~ 26

- ・ おなじみ、日本におけるアメコミ & アメトイ 普及の立役者。
- ・ 第1話から始まるので前知識が必要ない上、かなりの量を読むことができるのはポイント高い。
- ・ 残酷描写（スプラッター）が多いので、その点苦手な人は注意。
- ・ アラン・ムーア、ニール・ゲイマン、グラント・モリソンなど日本でも有名なライターが度々執筆している。

カースオブスポーン 1 ~ 6

- ・ 本編以上にハードで殺伐とした短編集。

スポーン ブラッドフェード

- ・ アラン・ムーアによるスポーンの番外編。殺伐としたバトルが延々続く。

バイオレーター

- ・ アラン・ムーアによるブラックジョーク満載の一冊。フレビアック5兄弟が登場。

アンジェラ

- ・ ニール・ゲイマンによるスポーンの番外編。
- ・ 番外編だが本編に強い関りを持つ為、スポーンを読むのであれば必携の書といえる。

スポーン/バットマン

- ・ ミラーバットマンとスポーンのクロスオーバー。
- ・ スポーン本伝で語られなかったスポーンの顔にキズが付いてしまうエピソードが収録されている。
- ・ 併録は映画版スポーンのコミカライズ。

バットマン/スポーン

- ・ ゴッサムを脅かす魔神クロトゥンにバットマンとスポーンが立ち向かう。
- ・ 此方はスポーン本誌との繋がりがほとんどと言っていいほど無い。

- 後半がバットマンの主要キャラデータなどの解説、ゴッサムの街の歴史解説などになっており、バットマンの物語の側面を知る上で相当役に立つ。

ワイルドキャッツ 1～12

- ジム・リーのオリジナル作品。
- 後半のアラン・ムーア参加のストーリーラインは傑作。

ワイルドキャッツ/X - MEN

- ワイルドキャッツとX - MENのクロスオーバー。

GEN 13 1～10

- ジム・リーのオリジナル作品。

ウィッチブレイド 1～4

- マイケル・ターナーのオリジナル作品。
- 設定を大きく変えて日本でアニメ・漫画化された。
- 他のアメコミの例に漏れず、刊行停止となっている。

メディーバルウィッチブレイド

- ウィッチブレイドとスポーンのクロスオーバー。

アメコミ通信 vol.1

- アメコミの解説本。特集はワイルドストーム。vol.1とあるが第一巻で刊行停止している。
- 人気アーティストへのインタビュー、日本語版翻訳者の内情、コミックコンベンションの当時の状況、グッズカタログなどかなりディープな内容。